

下水道総合計画見直し及び
下水道事業経営の在り方等検討委員会
議事要録

内容 第5回
日時 令和4年8月31日(水)
午後7時から午後9時まで
場所 武蔵野商工会議所5階
第1・2合同会議室
出席委員8名

1. <次第1>武蔵野市下水道総合計画（案）について

○事務局 <次第1>を資料1にて説明

- ・第3章の通し番号の修正
- ・計画全体の文章内に図表番号を追記
- ・第5章の全体構成の修正

前回別の章で掲載の事業計画を同章内冒頭に記載するよう修正

精査中だった表や記載を修正

[質疑]

○G委員 第5章の中にP.3-30 環境の学校などの内容が触れられていないが、入れたほうが良いのではないか。また、下水道について触れる機会を事業として取り組んでいただきたい。

○D委員 水の学校の講座は終了しているが、資料等の情報は現在でも市のホームページ上で公開しているので、そのリンクを掲載できると良い。

○事務局 下水道に触れる取り組みも含めて記載内容を検討する。また、水の学校の報告書のQRコードも掲載する。

○D委員 P.1-2の図1-1はインパクトのある色分けにできないか。また、「下水処理場」は本文と合わせて「水再生センター」で統一した方が良いのではないか。

○委員長 内容をまとめてもっとシンプルにした方が良い。「水再生センター」は一般的な名称ではないが、記載はどちらかに統一した方が良いので検討いただきたい。

○D委員 P.3-6の図3-6は東京都のホームページからの転用のため、修正は難しいと思うが、道路での浸透がわかる図があると良い。

またP.5-10の図5-5はグリーンインフラが強調された本文に変更されると違和感がある。削除するか、同じ趣旨のP.3-17の図3-18を再掲してはどうか。

○事務局 図5-5は削除する。

○委員長 P.3-16の図3-16および3-17は、P.3-7の河川への放流制限のないようにも関連する重要な図なので、わかりやすくしていただきたい。

P.3-25の2段落目「また、～」の文面について、武蔵野市は処理場がないため生物や化学がなく、土木技術となっていることがわかるよう調整してほしい。ま

た、P. 3-9にある武蔵野市管工事業協同組合について補足説明が必要である。
修正予定となっているが、P. 3-4の図3-3の赤い点は何を指しているのか、凡例を付けたり、P. 3-11の図3-10の縦軸が管きよの延長ベースとわかるようにするなど、誤解を生まないよう図の細かい修正を行ってほしい。

2. <次第2> 使用料の見直し検討及び経営戦略の改定について

○事務局 <次第2>を資料2にて説明

- (1. 使用料見直し及び経営戦略改定の意義・必要性から4. 現状分析まで)
- ・使用料見直し及び経営戦略改定の意義・必要性の説明
 - ・使用料見直し及び経営戦略改定の流れの説明
 - ・現行経営戦略の実施状況の説明
 - ・現状分析の説明

○事務局 使用料算定期間は令和6から9年度までの4年間を想定している。また、今後の進捗状況により必要であれば、12月に追加の委員会開催をお願いしたいと考えている。

[質疑]

○B委員 P. 5 経営戦略の骨子(案)について、第5章の経営の基本方針を冒頭に持っていく、先に明確に示して、それ以降で詳細な説明をする構成にした方が良い。

P. 9の人口推移について、65歳以上の人口比率も示してもらいたい。この表だけでは人口が増加して良好な状況に見えるが、使用料の値上げによる負担の影響が大きい高齢者の割合が増加していくことも示すべきである。

全体的にどの指標を重視するかを明示すべきではないか。P. 14の経常収支比率やP. 16の経費回収比率などは重要な指標であるが、両指標の必要性や違いなど市民にはわかりにくいと思う。また、これらのグラフには数値を入れた方が良い。P. 22の管きよ老朽化率には、更新分が含まれているのか。

○事務局 現在、市の長期計画の調整計画で人口推計を実施している。今後、それに基づき、今回使用する人口推計も更新をする予定である。その中で65歳以上の人口比率などのデータがあるのか確認したうえで検討したい。

本日の資料については、公営企業会計移行後初めての現状分析ということで、経営指標をすべて見ていただくことを目的としている。経営戦略の段階では、重要

な指標をわかりやすく表現していきたい。また、指標の重要性や目標値の設定についてはシミュレーション実施後にお示ししたい。図には数字を入れるよう調整する。

また、P. 22 の管きょ老朽化率には、更新分は含まれている。

- 委員長 重要な指標は元々あり、それに基づいてシミュレーションを実施するのではないかな。
- 事務局 そのとおりである。ただし、どこに重きを置いて見ていくのかについては、シミュレーション結果を踏まえてお示ししたいと考えている。
- B委員 管きょ老朽化率は、更新前のグラフと更新後のグラフを両方示すことにより、実施した効果が見えるようにしたほうが良いのではないかな。
- 事務局 整理検討する。

- C委員 分析が決算書のどこを見て行われているのか分かるように、巻末に財務諸表を含めた決算書の要約を付けてほしい。シミュレーションでは営業損益、資金収支の2つの指標が重要である。それらの数値の将来推計を初めに示すとわかりやすいのではないかな。
- G委員 それぞれの指標では、類似団体との比較がされており、他団体より良いと見ることができると、下水道事業としてどうあるべきなのかも示してほしい。例えば、数値化してレーダーチャートにすることで課題の部分もわかりやすくなるのではないかな。
- 委員長 類似団体について、対象団体がわかるとイメージしやすい。武蔵野市と同じ合流式を採用する類似団体もわかるとなお良いと思う。
- 事務局 同じ区分の団体は全国で40団体弱ある。次回委員会で参考資料として示すように調整する。

- E委員 P. 27 で下水道使用料の減少は新型コロナウイルスの影響により減収となっているが、業種別で減収の詳細がわかる情報はあるのか。
新型コロナウイルスが要因であれば、終息したのちに下水道使用料収入は改善されるのではないかな。その場合、どの程度今回の推計に織り込むのか。
- 事務局 業種別は難しい。全体では、料金単価の高い使用料区分の有収水量が大幅に減少したことにより令和2年度の下水道使用料の減収につながっている。今年度の3か月間の状況では令和3年度より改善しているが、まだ令和元年度の水準ま

では回復していない。今後のシミュレーションでどの程度見込むのかについては、委員の皆様にご意見をいただきたい。

- D委員 経営戦略は誰をターゲットに置いているのか。それによって記載内容も変わってくるのではないか。
- 事務局 総合計画と同様に市民に見てもらいたいという視点もあるが、経営的な観点で専門的な指標を用いて経営状況を示す必要があると考えている。そのため、市民向けには、別途わかりやすい表現にしたものでの発信も必要かと考えている。
- D委員 幅広く見てもらうという視点が入るのであれば、「公営企業会計とは」ということや「雨水公費・汚水私費の原則」の考え方等の経営戦略に入る前の基本説明が初めにあった方が良い。また各指標について説明と結果が一覧となってまとめられているとわかりやすい。
- 事務局 ご指摘のとおり、調整する。
- D委員 流域下水道等維持管理負担金には汚水に加えて雨水処理分も含まれているが、市の対策で雨水流出抑制を実施しても負担金額には影響がないということか。
- 事務局 ささまざまな雨水の流出抑制を実施しているが、全体の雨水混入率で負担額が決まっているので、直接には加味されていない。
- C委員 下水道使用料がどのように決められているのか、下水道事業会計の全体像を初めに示した方が良い。また、料金表を東京都との比較も入れて示してはどうか。
- 事務局 本市の料金表については図表⑳、東京都については図表㉑でこの後説明する資料で示しており、後ほどご意見をいただきたい。

○事務局 <次第2>を資料2にて説明

(5. 将来に向けた経営課題と収支計画上の留意事項)

・将来に向けた経営課題と収支計画上の留意事項の説明

- F委員 新型コロナウイルスや円安の影響等で先が見えず、今後について予測しづらいつ感じている。
- 委員長 本日は時間となったので、次回、シミュレーションに入る前に第5章を中心にご意見があれば事務局に伝えていただきたい。期日などについては追って事務局より各委員に連絡してほしい。